

# 真声会大阪

発行：京都市立芸術大学音楽学部同窓会 真声会大阪支部  
 事務局：〒545-0004 大阪市阿倍野区文の里4-12-25 樋口博行 方  
 Tel/Fax 06-6624-3425  
 郵便振替口座 00960-4-47824 真声会大阪支部  
<http://senri-music.com/shinseikai-osaka/>

## コロナ後の新しい音楽の世界を切り拓こう！

真声会大阪支部・支部長 大村益雄（1期・作曲）

大村さんが、お歳のことあって、現在、健康を損ねられて療養中ですが、なんとしても登場願いたいで、質問にお答えいただく形で、紙上参加いただきます。（聞き手：広報補佐 金森重裕 6期・cl）

最初に、大村さんの現在のご様子をかいつまんでお知らせします。昨年1月初めに、心臓の調子が悪く、入院、心臓内部にある僧帽弁を修理する手術を二度受けられ、うち一回は、人工心肺を動脈、静脈に取り付けて、ご自分の心臓を一時的に取り外して人工弁と置換して行うという、大変大掛かりな手術だったと。手術はうまくいったのですが、体力がかなり消耗し、体重が40キロほどにまで減少。心身・体力を回復するために、リハビリ専門病院へ移って、長期間養生され、回復して退院したものの、お家では減塩食維持はむつかしいので、8月からは、以前から保養所として使っていた宝塚の老人施設に滞在して、減塩食の提供と健康保持の看護を受け、また、少しずつ進行していた脊椎側弯症も、併せて、同施設内のフィットネスでのトレーニングを受講し、健康回復に努める日々を過ごしておられます。



18年6月17日支部総会  
 於：グランヴィア大阪

—— コロナ禍から一年を過ぎ、収束に向かいつつありますが、まだまだ元の生活に戻るのに時間がかかりそうです。大村さん、いかがですか。

（大村）皆さんに、ご心配をいただいてありがとうございます。幸いにして、周りの手厚い支援のおかげで無事に過ごさせていただいております。ちょうどこの一年余り、外出もかなわず、新聞、テレビ、ネットなどからの情報で知るのみですが、コロナ禍はいろんな問題を提起したと思います。経済の維持が基本にありながら、「要請と補償」の問題も常にあるようですね。休業要請によって、企業も従業員も収入が途絶え、生活困窮に陥りました。音楽家の生活も成り立たなくなって、路頭に迷うといった状態に。国会で「フリーランス」という言葉が市民権を得たこともありました。東京を中心とした、関係者の素早い行動が功を奏したように思います。まだ十分ではないと思いますが、今後ともフリーで活動する芸術・文化関係の従事者を、常に念頭に置かなければならないという下地を作ったと思います。それに、ドイツの文化担当相の「アーティストは生命維持に不可欠な存在」との発言が世界に発信され、日本の文化芸術施策の手薄さが露呈したこともありました。

コロナ対策を契機に、世の中、政治主導だということが明らかになりました。政治とは無縁ではなく、注視しながら、今後とも、私たちが声を出していかなければならないと思いましたね。

### ●大阪支部総会のご案内

2021年度総会を開きます。お誘いあわせの上、ご参加をお待ち申し上げます。

\*日時：2021年5月30日（日）15:00～17:00

\*会場：大阪府立労働センター（エルおおさか）会議室 南101室（南館10階）

Tel. 06-6942-0001

（谷町線・京阪電鉄「天満橋駅」より西へ300m。堺筋線・京阪電鉄「北浜駅」より東へ500m。）

\*会費：無料

\*総会議事：2019、2020年度のまとめ。新世話役および委員の選出承認。  
 今後の活動について。その他。

\*同封のハガキで、5月20日までにご返信お願い致します。

\*感染対策を行いながら開催致します。マスク着用等皆様のご協力をよろしくお願い致します。  
 状況により開催できなくなった場合には出席のお返事をいただいた方に連絡致します。

申し込み・問い合わせ otoyatomiyamada@gmail.com（大富）



それと、音楽の伝え方に大きな変化を余儀なくされています。緊急事態で、対面でのパフォーマンスが許されなくなった結果、いち早く、工夫を凝らしてネット配信とかを試み、新しい音楽の在り方を見出し、成功した例もいくつか報じられていましたね。コロナ後にもあってもいい提起だと思います。同時に、人と人を直接結ぶ音楽、人が生きていく上で必要な音楽の在り方が、今まで以上に、求められるのではないのでしょうか。いっそう重要な使命を帯びていることを、音楽を志す皆が自覚しなければならぬと思っています。

—— 同感です。私の知人で、ピアノレッスンで生活している人が、「リモートについては無知で戸惑いがあったが、いざやってみると、思わぬ成果が。新しいレッスンの在り方としてコロナ後も続けるでしょう」と言っています。

ところで、この間、母校の名称問題が挙がってきましたが、大村さんはどう捉えておられますか。(大村) 事実関係を確認しますと、一昨年8月、京都造形芸術大学が「京都芸術大学」と名称変更すると宣言、わが方は、「名称の混同を招く」として、名称の使用差し止めを求めて大阪地裁に訴訟、一年後の昨年8月27日判決が下され、訴えが棄却されました。「京都」「芸術」「大学」の各部分はありふれたもので、識別に重要な部分は「市立」だとし、類似のものと受け取られるおそれがあるとはいえないと結論づけました。判決を不服として、いま、大阪高裁に控訴中です。係争中にもかかわらず、先方は、創立30周年にこだわって、すでに4月から「京都芸術大学」と呼称しています。この間、世間の認知度を示す材料として、真声会本部はもちろん大阪支部からも支部報をはじめ、開催した演奏会素材など資料を裁判所に提出、また、署名活動や裁判費用の資金募集などを行っています。

私個人的には、京都で同じ芸術系の大学ができることは喜ばしいことで、双方の卒業生が教える立場で交換もあり、友好的に思っていました。私たちが芸術系・音楽系の仲間内では、50年の長きにわたって、日常的に「京都芸大」、「京芸」という名前を使ってきましたから、ちょっと意外です。

高裁の判決が待たれますが、一審判決が支持されたとしても、私たちは140年からの歴史と確固たる伝統があり、自信と自負をもって、変わらず、いっそう芸術・文化の発展のために、研鑽に励むことが大事だと思います。いずれにしても、これを機に「市立」「市」を意識することですね。

—— 大阪で仕事をしていて、いままでも、周りで「京都市芸大」と呼称してくださる人は多いですね。

大学は、いよいよ京都駅北東側への移転が本格的になりました。

(大村) 念願かなって、ですね。建築パースで見て、いま、期待が大きく膨らんでいます。2023年度に完成、移転の予定のようです。大学は、「京都府画学校」を起源として、昨年創立140年、音楽は「京都市立音楽短大」誕生から来年70年、芸術大学となったのは1969年ですから52年、前にも述べましたように、築かれてきた基盤を思い、大いに誇りを持つと同時に、責任を感じなければなりませんね。京都市の財政は潤沢ではないでしょうから、設備充実には外からの浄財が求められます。寄付の募集には、頑張っ

—— 年金生活者には厳しいですが、捻出して…、と思っています。

真声会は4年後に70周年を迎えます。大阪支部は誕生が1960年、一時停滞する時期もありましたが、61年になります。一貫して、大村さんに支部長をお願いして今日まで来ました。おかげさまで、会員皆さんの支部への意欲的な参加は、半端じゃないですね。新しい発想が次々出てくるのは、私も肌で感じてうれしく思っています。最後になにか…。

(大村) 一日も早くコロナ禍が文字通り終息して、元の生活に戻りたいです。でも間違いなく世の中は新しく変化していきます。「新しい音楽の世界を切り拓く」という気概をもって、共に、「芸術・文化を楽しむ世の中」を盛り上げていきたいですね。私も早く元気になって、皆さんの話し合いの輪に加わりたいと思っています。

—— 大村さん、ありがとうございました。くれぐれもお体お大事になさってください。一日も早いご回復を祈念いたしております。





# VOICE

## アフター・アワーズ・セッション

右近恭子 (25期・Pf)

1997年のこと、京芸の卒業生たちが核となって小さな室内楽グループを作りました。

その3年後には「アフター・アワーズ・セッション」として本格的に活動を始め、今では総勢10人余りとなり、年代も幅広く様々な大学の出身者が集まっています。

当初は室内楽の「仕事」というのはなかなか無かったのですが、それでも室内楽をやりたい気持ち、さらに珍しい編成の聴く機会の少ない曲を紹介したいという気持ちで、自主公演を重ねてきました。

出演者が頑張って手売りをして、パンフレットなどの製作や場所代、調律代などを差し引くと殆ど収入は出ない状態でしたが、主催公演の数を重ねて行くうちにアフター・アワーズ・セッションの名前が少しずつ認識されるようになりました。同時に依頼公演も増えてゆき、さらに2018年には『音楽クリティッククラブ奨励賞』を受賞することができました。

新型コロナウイルスにふりまわされた感のある2020年前半、アフター・アワーズ・セッションは2月に弦楽器だけの演奏会を開催したものの、3度目のジョージア公演、芸文での『キャトル・スール』、ムラマツホールでの木管五重奏『セッション・ファイブ』、いくつかの依頼公演など、いつになく早めに決まっていた公演がすべて延期となり、このまま何も出来ない年になるかと不安でした。

しかしこのまま引っ込んでいるのは悔しいので、まずは小さいユニットからの方が動きやすいだろうと、試しにヴァイオリンとピアノのデュオを9月に開催しました。すると生の音楽を欲しておられたお客様がたくさんお越しく下さいました。10月には延期になっていた依頼公演のうち2つが復活。これに勢いを得て11月には初めて京都での演奏会を開催、「また京都でやってほしい」とのお客様の言葉に勇気づけられました。毎年恒例になっていたクリスマスコンサート『クリスマスのポップ』も会場の教会のご理解のもと、感染対策に十分に気を付けながら無事開催できました。

2021年の1月には依頼演奏が復活、しかし緊急事態宣言が発令されたため自主公演の方は開催がためられました。2月に予定していた『キャトル・スール』も昼間の時間帯に急遽変更、それにともない会場と日程も変更

せざるを得ませんでした。2月23日に島之内教会で開催することができました。そして来年2022年に我々も25周年を迎えます。この先も悪い予測はせず、次々と面白い室内楽曲を取り上げていきたいです。

## この1年の音楽活動

栗木充代 (34期・Vo)

長引くコロナ禍での生活、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

この1年の音楽活動を振り返りますと、私自身は新しいことへの挑戦の日々でした。昨年3月以降のコンサートがすべてキャンセルとなる中で、声楽4名とピアニストによるリモートコーラスを始めました。最初はそれぞれが関わる合唱団へ練習用の音源を贈ることが目的でしたが、それぞれ個別に録音したものがパソコン上でアンサンブルするという新しい感覚を体験し、またそれをYouTubeにアップすることで沢山の方にご視聴いただきました。グループ名も付け、今年の5月にはいよいよリアルでのコンサートを開催致します。

私にとってホールでのコンサート再開は7月1日、兵庫県立芸術センター小ホールでのコンサートでした。ちょうどこの日からホールが再開されるという日で、相談の結果、関係者のみの無料コンサートと致しました。それでも久しぶりに生の音楽を共有できた嬉しい日となりました。

一番難しかったのはやはり合唱関係です。まだ再開できていない合唱団もあります。そんななかでも、大きなお部屋、人数制限、度々の換気、消毒、マスク着用、座席間の距離等を守りながら練習を再開した団もあります。合唱団のコンサートは、昨年10月には長崎の浦上天主堂にて、今年1月には神戸の栄光教会にて、少数の観客と生配信という形で開催されました。それは、指揮者以外は客席に背を向け、間隔を開けてマスク着用で歌うという異例の形でした。

毎年秋に開催しているソロリサイタルにも影響がありました。昨年は兵庫県立美術館のミュージアムコンサートとして開催予定でしたが、夏頃に会場より中止の連絡を受けました。すぐにホールを探し、豊中市立文化芸術センターにて自主公演を行うことにしました。開催に向けては、もしさらに状況が悪くなくても無観客でオンライン配信する準備を整えたり、デジタルチケットを採用したり致しました。デジタルチケットは、来場者名簿を作成できたり、接触を減らすことには役立ちま



したが、一方でスマホでの購入というところがまだまだ難しいと感じました。収録した動画は期間限定 YouTube 配信を行い、ホールにお越しいただくことが難しい遠方の方々にもお聴きいただくことができました。

その他の音楽活動の中でも、オンラインの活用が一気に進んだと感じます。Zoom でのミーティングを始め、レッスンやワークショップ、語学講座など、オンラインなら海外の先生によるレッスンや講座を容易に受けることができます。

生の演奏の価値が再認識される一方で、オンラインを活用した新しいスタイルも急速に進化していきたく思います。若い方にはぜひ、よりよい活用方法を見いだしくラシック音楽とのよい関係を作っていただきたいと思います。

## カナダ・マニトバ州ウィニペグでの様子

松村桃子 (43 期・Vn)

私が住んでいるカナダのマニトバ州ウィニペグでも、ついに 2020 年の 3 月 12 日初めての感染者が出た。忘れもしない 3 月 13 日、その週末のポップスショーのためのリハーサルが朝から行われていた。リハーサルの休憩後、オケのマネージャーから“感染者が出たことを受けて、急遽今週末の公演はキャンセルになった”とのアナウンスがあり、午後のリハーサルもキャンセルになって皆家路についた。

この時は、まだ事態がこんなに深刻に、そしてこんなに長期戦になるとは誰 1 人として思っていなかっただろう。少なくとも私は、それほど深刻には捉えていなかった。

私がここ数年契約団員として弾いているこのオケはとにかく忙しくて、シーズン中は本当に譜読みに追いかけていたもので、当時は急に休みがもたらされた感じがして正直言って少し休める、とほっとしていた。

週明け、緊急事態宣言が出され、翌週には 4 月の公演が全てキャンセルになり、更にシーズン末の 6 月までの公演が全てキャンセルになった。

さて、仕事が止まってしまった。こんなことは、京芸を卒業して以来初めてのことで、ありがたいことに、卒業してからというもの数十年演奏の仕事が途絶えたことはなく、いつも何かのコンサートの準備をしていた。それが無期限で、止まってしまった。

演奏の仕事と並行してティーチングも続けており、オンラインでのティーチングは初めての試みで不安もあったが、思ったよりもス

ムーズにいつている。ただ準備がいつもより沢山必要で、軌道に乗るまでは苦労したが、スクリーン越しに週に一回、自分の生徒達と会える事は非常に救いである。

秋になり感染者が増えてきてからは、オケは観客なしのライブストリーミングに切り替わった。規制が厳しく舞台の上に乗れるのは 25 人だけ、各奏者の間は 2 メートルの間をとってある。一体この編成で何ができるか？という難題がプログラムを考える指揮者、それからオケのマネジメントを苦しめている。大変な状況だが、ライブストリーミングになってよかったことは、地元以外のお客さんもコンサートが見れる様になった事。私もパートナーも遠く離れた両親にコンサートを見てもらえる。オケの同僚達も地元出身の人は少なく、世界中にいる彼らの家族にコンサートをみてもらえることは大きな喜びだと思う。

カナダにも少しずつワクチンが入ってきたが、オケはまだまだ少人数でのシーズンオープニングを予定しており、この街でフルの編成でオケが聴けるのはまだまだ先になりそう。

そしてカナダ政府からの金銭的援助がなければ、オケは存続が不可だということは書いておきたいと思う。私も政府からの個人向けの援助金を 3 ヶ月にわたって受けることができて、非常に助かった。

職業としての演奏家というカテゴリーは、将来どうなってしまうのか、これは本当に必要とされる職業なのか、正直言ってわからなくなる時もある。

しかし自分がコンサートに行き行って感じる感動、生演奏からもらえるエネルギーは生きる上で必要な物だとこの 1 年で非常に強く実感している。とにかく多くの人にワクチンが行き渡って、皆安心して外に出掛けられる環境に早くなってほしいと願っている。

## コロナ禍の中で音楽に携わる人々が、どのように過ごし、何を考えているか

吉本成美 (57 期・Pf)

二度目のロックダウンが、ドイツでは昨年春に引き続き 12 月 9 日から開始され、2 月末時点では延長も含めて 3 月 7 日までの見通しと発表されています。



劇場もドアが締め切られています。



現在ピーク時に比べ、日々の感染者数は大幅に減ってはいるものの、ヨーロッパに於ける感染拡大、そしてパンデミックの様子には目を見張るものがあり、もはや周りの人々や私自身が、幸い健康でいられる事自体に驚きの感さえあります。ロックダウン期間中は、劇場やコンサートホールを含む文化施設や商業施設をはじめ、飲食店やスポーツ施設等も全て原則閉鎖されており、この政策に不満を募らせる人々によるデモンストレーションが国内各地で頻繁に行われています。



オペラハウスプラッツにコロナテスト機関が設けられています。

予定されていた演奏会や発表会等は軒並みキャンセルされ、勤めている音楽学校でのレッスンはロックダウンと同時に即時オンラインに切り替えられました。生徒とは「早く学校で会えるといいね」「次に会えたら…」と、毎週のように話しています。このような状況下に於いてもなお、レッスンを続けられているという事を有難く思う反面、楽器を習う、教えるには対面が一番だという事、そして何より音楽において“音や空間を実際に共有する”という事が、どんなに大切な事かと、時の経過と共に痛感しています。

例えば、つい最近2023年から5年間、サイモン・ラトル氏が首席指揮者に就任する事が決まったバイエルン放送交響楽団では、某動画共有サイトへ定期的に動画が上げられており、プロフェッショナルの演奏やリハーサルの様子等を一部ではありますが、垣間見る事が出来るようになってきました。全世界場所を問わず、好きな時間に一流の音楽を楽しめるという事は魅力的ではありますが、これを同じ空間の中で実際に聴けたならどんなに素敵だろうと、以前にも増して強く思うようになりました。いくら音



街の中心には“マスク義務”という看板が設置されています。



市庁舎裏の楽譜屋さん閉まっています。

質が良く臨場感溢れるものでも、やはりオンラインでは共有出来るものが圧倒的に制限されるのだという事を、実感と共に再認識し、この厳しい時間の中、自身の生活での小さな体験をもって“思い知らされた”感があります。

その場の空気、呼吸、そして音…全て含めて“音楽”なのだと改めて考える時間を持った事は、未熟ながらも引き続き音楽に携わって歩んで行く者としての良き機会となっています。末筆となりましたが、一刻も早い安寧の訪れと、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

### 大阪支部の会費について

大阪支部は、大阪を中心とした地区における音楽活動ならびに親睦を図ることを目的とし、会員の構成は、大阪に在住、在勤、あるいは活動の本拠をもつ真声会会員となっていますが、制約はありません。現に、大阪の様子が知りたいと、東京在住の会員もおられます。

大阪支部の年会費は2000円で、夫婦会員はお二人で2000円です。(会費納入の際、その旨をお書きください。)

なお、学生・院生・今春の卒業生は今年度支部会費が免除されます。入会の意思を同封のハガキでお知らせください。

### 今年度の会費について

支部会員の皆様には昨年5月にハガキでお知らせしましたとおり、昨年度はコロナ禍により実質活動を休止しておりましたので、昨年度分の会費は今年度分に回させていただきます。昨年度、新卒で入会された方は今年度も会費を無料とさせていただきます。

昨年度に会費を納入いただいていた方は、お手数ですが、郵便局に備え付けの払込用紙に卒業期、専攻もご記入のうえ、下記口座まで年会費2000円をご送金ください。なお、恐れ入りますが、払込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

郵便振替口座 00960-4-47824 真声会大阪支部  
会費納入状況をお知りになりたい方は、事務局 樋口博行 (h.higuchi@kinran.ed.jp) までご連絡ください。





## ～ 横井和子先生追悼 (元本学ピアノ科教授) ～

### 横井先生のこと

金森重裕 (6期・CI)

ピアノの横井和子先生が亡くなりました。2021年2月4日、101歳でした。私は、大阪アーティスト協会に在籍中、先生の音楽生活60周年記念ピアノ・コンサート(2002年10月10日いづみホール)に関わりました。その時のプログラムから改めてご紹介しますと、1920年1月新潟県のお生まれ、音楽豊かな環境で育つも、11歳の時、両親を相次いで亡くされ、親せきに預けられた先で本格的にピアノを習うことになり、16歳で井口基成氏に師事、東京音楽学校(現・東京芸大)へ。卒業後は、主に関西を拠点に演奏活動と教育に努められ、わが京都芸大では、77年～84年、ピアノ科教授を務められました。

横井先生の演奏活動や受賞歴、教育功績は多くの方がご存じですが、ご自身の人生は平坦ではなく、苦難の道であったと察せられます。早くにご両親を亡くされた不幸に始まり、22歳で、1級上のチェリスト赤松稔氏と結婚されるも、わずか10カ月で戦地へ、そのまま帰らぬ人に。忘れ形見の秋雄氏を3歳で赤松家に託して、ひたすらピアノ一筋に生きてこられました(ご子息夫妻とは、先生63歳の時から今の芦屋にご一緒にお住まいでした)。このコンサートのプログラムに、「ピアノに心を託して…」と述懐しておられますが、同時に、「共演がかなわなかった夫・赤松稔を想い、世界の平和を心から祈っています」とも記されています。人に対する愛情は人一倍強く、震災復興のコンサートはもちろん、「音楽・九条の会」の呼びかけ人の一人として、平和を願うコンサートには積極的に参加されました。

もう一つ、私的な思い出ですが、82年、母校の先生だったことをご縁に、大胆にも演奏依頼をしたことです。大阪城公園音楽堂のオープニングの催しに関わってしまして、東京日比谷音楽堂、京都円山音楽堂に負けない、大阪の新しい文化拠点を築くという強い思いがあって、誰しものが感動するピアノ演奏をと思ったのです。前年に、大阪文化祭賞を受賞されたこともあり。今思えば、なんて厚かましい、礼儀知らずと思いますが、直接お目にかかってご出演をお願いしたのです。こちらの日程が決まっていたことで、スケジュールが合わずに実りませんでした。私の思いに賛同して下さって大いに話が弾んだことを思い出します。20年後、前述のコンサートで関わらせていただいたとき、先生はしっかりとそのことを覚えていて下さって、あの時

は御免なさいね、とおっしゃっていただきました。強烈な思い出です。謝る先生は、とてもかわいらしいと感じ、いつも感動を覚える先生のピアノ演奏はもちろんですが、人としても尊敬できる素敵な方でした。少なからずご縁があって、いま一度お会いしたかったです。ご冥福をお祈りいたします。

### 横井先生の思い出

26期 坂本恵子

27期 樋口博行

30期 古川知子

横井先生の門下の皆さんは口をそろえておっしゃると思いますが、先生のレッスンはそれはもう途方もなく厳しいものでした。いつ雷が落ちるかという恐怖の中で、1時間の予定が2時間3時間は当たり前、緊張の連続でした。また、どんな時でも先生は手を抜くことなど一切無く、夜にご自身の本番が大阪であるのに、京芸で時間ぎりぎりまでレッスンをしていただいたり、その姿勢にはずっと驚かされていましたが、今になって先生の教育への情熱、心意気、偉大さに感服するばかりです。私たちも見習わなければと思います。先生、あらためてご指導ありがとうございます。

しかし、レッスンを離れると、相談事などとても親身になって接していただきました。また、ネコがとてもお好きで、知人から引き取られたネコもいたと聞きましたが、たくさん飼っておられて、神戸のご自宅までレッスンに行つて自分の番が来るのを待っている時に、ネコたちがすり寄ってきたり膝の上に乗ってきたりして、しばしの癒やしを与えてくれたのが思い出されます。ご冥福をお祈りいたします。

### 編集後記

1年ぶりの会報となりました。この1年、世界中がそうであったように、私達も戸惑い、試行錯誤し、新たに挑戦しながら前へ進んでまいりました。

会報に関しましても、印刷を頼んでいた所が急に閉店となり、途方に暮れておりましたが、兵頭正文さん(35期・Tuba)が引き受けて下さる事になり、ようやく作成に取りかかることができました。新しく始まる大阪支部会報を、どうぞよろしくお願いたします。



ご意見、コンサート情報などもお待ちしております。

右記QRコードからアクセスいただけます。(信)



# INFORMATION

インフォメーション

## ♪ Poetica Piano Concert 17th

- \*日時：2021年4月18日(日)14:30
- \*会場：京都府立府民ホールアルティ
- \*出演：三森尚子(26期 pf)、信多仁子(32期 pf)他
- \*曲目：R. シューマン ソナタ作品22/  
F. ショパン エチュードより「黒鍵」「革命」  
「エオリアンハーブ」「別れの曲」他
- \*入場料：前売2,500円 当日3,000円
- \*問い合わせ：エラート音楽事務所 075-751-0617

## ♪ An Evening of Art Songs～歌曲の夕べ～ 主催 ソワレの会

- \*日時：2021年4月27日(火)19:00
- \*会場：伊丹アイフォニックホール メインホール
- \*出演：栗木充代(34期 m. sop)、中西金也(49期 bar)、  
信多仁子(32期 pf) 他
- \*曲目：F. ブーランク「冷気と火」/「月並み」  
G. フォーレ「F. ヴィヨンの3つのバラード」他
- \*入場料：2,000円
- \*問い合わせ：090-7104-5263(ソワレの会 小嶋)

## ♪ みやこオペラ京都 第6回定期公演

- 喜歌劇「こうもり」(全3幕・日本語公演)
- \*日時：2021年5月2日(日)13:00開演 12:15開場
- \*会場：大東市立総合文化センター サーティホール
- \*出演：小梶史絵(49期 vo)、田中千佳子(51期 vo)  
西岡仁美(51期 pf) 他
- \*入場料：(指定席)4,500円  
(自由席(客席後方部))3,500円(当日券は500円増)
- \*問い合わせ：070-2165-0869 miyako\_opera@yahoo.co.jp

## ♪ 菊本恭子(vn)&一ノ瀬夏美(pf) デュオコンサート

- \*日時：2021年5月16日(日) 14:00
- \*場所：芦屋クラシカ
- \*出演：一ノ瀬夏美(28期 pf)、菊本恭子
- \*曲目：イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ第4番  
ホルスト「惑星」より〈木星～ジュピター〉(ピアノソロ)  
ブリッジ 5つの小品より 他
- \*入場料：4,000円(ワンドリンク付)40名
- \*主催：芦屋クラシカ
- \*問い合わせ先：0797-25-2556(芦屋クラシカ(水・木)休)  
電話受付のみ。完全予約制

## ♪ アフター・アワーズ・セッション ～風薫る五月の宵に～

- \*日時：5月17日(月)19:00
- \*会場：日本キリスト教団 島之内教会
- \*出演：右近恭子(25期 pf)、松原央樹(29期 cl)  
ギオルギ・バプアゼ(教員vn) 他
- \*曲目：ヤナーチェク「青春」/シュポア「ピアノ5重奏曲」  
シュニトケ「古い様式による組曲」他
- \*入場料：一般3,000円 学生2,000円 ペア券5,000円
- \*問い合わせ：アフター・アワーズ・セッション  
0797-34-3116 afterhourssession@hotmail.com

## ♪ 土曜の午後のクラシック ピアノ五重奏

- \*日時：2021年5月22日(土)14:00
- \*会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
- \*出演：古川知子(30期 pf)、木村真理子、市坪綾子(41期 vn)  
小崎恵理子(30期 vn)、エドアルド・デルリオ
- \*曲目：ドヴォルザーク ピアノ五重奏曲 第2番 イ長調 op. 81  
サン＝サーンス《動物の謝肉祭》より「白鳥」他
- \*入場料：一般3,000円 小中高1,500円
- \*問い合わせ：090-4649-5825(松田紳)

## ♪ 原 由莉子ウィーン世紀末シリーズVol. 3

- ピアノで聴くブルックナーの神髄
- \*日時：2021年5月23日(日)14:00
- \*場所：NAM HALL (平安神宮より徒歩5分)
- \*出演：原 由莉子(60期 pf)
- \*曲目：オールブルックナープログラム  
交響曲第7番ホ長調より第一楽章(ピアノソロ編曲版)他
- \*入場料：3,500円
- \*問い合わせ：演奏会デザインインタービレ (080-5718-9867)

## ♪ Pocket Harmony Concert

- \*日時：2021年5月27日(木)14:00
- \*会場：豊中市立文化芸術センター小ホール
- \*出演：上木裕子(34期 sop)、栗木充代(34期 m. sop)  
藤川晃史(ten)、中西金也(49期 bar.)  
信多仁子(34期 pf) 他
- \*曲目：遙かな友に/いのちの歌/おながく/ジブリ作品より 他
- \*入場料：3,000円
- \*2020年の緊急事態宣言下によりリモートコーラスグループ  
「Pocket Harmony」を結成、YouTubeで配信していましたが、  
いよいよリアルなコンサートを開催します。
- \*問い合わせ：090-4038-1973(信多)



# INFORMATION

インフォメーション

## ♪Wolf Marathon 主催 ソワレの会

### ～ヴォルフ生誕 160+1 年記念歌曲演奏会～ Vol. 4&Vol. 5

- \*会場：里夢 SATOM(神戸・阪急六甲)
- \*入場料：各 2,000 円
- \*問い合わせ：090-4038-1973(ソワレの会 信多)
- \*昨年予定していた全 5 回にわたり、歌曲 223 曲を演奏するヴォルフ生誕 160 年記念のマラソンコンサートの第 4 回と最終回です。

### Vol. 4

- \*日時：2021 年 5 月 29 日(土)17:30
- \*出演：上木裕子(34 期 sop)、栗木充代(34 期 m.sop)  
中西金也(49 期 bar)、信多仁子(34 期 pf) 他
- \*曲目：フーゴ ヴォルフ作曲によるスペイン歌曲集より

### Vol. 5

- \*日時：2021 年 6 月 26 日(土)18:00
- \*出演：上木裕子(34 期 sop)、中西金也(49 期 bar)  
信多仁子(34 期 pf) 他
- \*曲目：アイヒェンドルフの詩による歌曲集  
古き調べ(ケラーの六つの詩)/ミケランジェロの詩による 3 つの歌曲

## ♪生で聴くのためカンタービレの音楽会

- \*日時：2021 年 7 月 31 日(土)、8 月 1 日(日)各 15:00
- \*場所：兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
- \*出演：指揮 茂木大輔、ピアノ 原由莉子(60 期 pf)  
管弦楽 兵庫芸術文化センター管弦楽団
- \*曲目：7 月 31 日 エルガー ヴァイオリンソナタ op. 82 より  
第一楽章(ヴァイオリン 松田理奈) 他  
8 月 1 日 バッハ ピアノ協奏曲第一番二短調 BWV1052 より  
第一楽章/ラヴェル ピアノ協奏曲ト長調 他
- \*問い合わせ：兵庫県立芸術文化センター、チケットぴあ等各プレイガイド

## ♪八尾フィルハーモニー交響楽団第 58 回定期演奏会

- \*日時：9 月 19 日(日)14:00
- \*場所：柏原市民会館リビエールホール
- \*出演：樋口博行(27 期 pf)
- \*曲目：ベートーヴェン ピアノ協奏曲第 5 番「皇帝」 他
- \*入場料：1,000 円
- \*問い合わせ：090-7763-7778(樋口) h.higuchi@kinran.ed.jp

○昨今の状況下により、開催可否については、確認の上お出かけください。

## ♪Duo Concert Flute & Piano Rendez-vous des Artistes

### Music from Modern Eastern Europe ～東欧音楽紀行～

- \*日時：2021 年 6 月 24 日(木)19:00
- \*会場：西宮市プレラホール
- \*出演：西岡仁美(51 期 pf) 他
- \*曲目：バルトーク- アルマ ハンガリー農民組曲  
タクタキシヴィリ フルートとピアノのためのソナタ 他
- \*入場料：(一般)3,000 円(学生)2,000 円(当日券は 500 円増)
- \*問い合わせ：070-2315-8958(知久)  
duo.concert.rdvartistes@gmail.com

## ♪ひょうご日本歌曲の会 サロンコンサート

### ～新作歌曲の再演コンサート～

- \*日時：2021 年 7 月 22 日(木・祝)14:00
- \*会場：西宮市民会館 1 階 101 号室
- \*出演：猪澤文人、岡田征士郎、栗木充代(34 期 vo)  
津田基子、坪田雪、西川地恵、葉谷佳苗(35 期 vo)
- \*曲目：線香花火/アオムシ/百日紅の花/雨上がり他
- \*料金：2,000 円
- \*問い合わせ：hyogo.kakyoku@gmail.com  
事務局 葉谷 090-3714-5128



### 会報のコンサートインフォメーションへの掲載について

問い合わせ：yshinoda1616@ezweb.ne.jp(信多)

#### ○大阪支部後援名義について

申請をしていただきますと、チラシ、プログラム等に「後援：真声会大阪支部」と掲載できます。

#### ○活動報告、案内の他、受賞、入賞情報の会報への記載、支部会報の発送時にチラシ等の同封も可能ですのでご連絡ください。

#### 大阪支部ホームページへの掲載依頼

問い合わせ：mysaeterun@gmail.com (住本)

ホームページもご覧ください。



ホームページQRコード